

すやま歯科

DENTAL NEWS

2022年
5月号 



“宇宙飛行士も『歯が命』”



5日5日は“こどもの日”です。子供たちの健やかな成長を願う日です。子供たちの“将来の夢”として常に上位にあり続ける宇宙飛行士。今年の3月、JAXAが13年ぶりに新たな宇宙飛行士の募集を始めることになりました。宇宙飛行士を夢見る少年少女たちの夢が叶うかと思うとワクワクしますね。

お口の中にむし歯や治療が不十分な歯があると、宇宙では気圧の関係でひどい歯痛が起こる可能性があるそうです。宇宙には歯を削る設備がありませんし、もしも無重力の状態ですら歯を削るような治療をしたら、水分や削った粉が飛び散って大変なことになってしまいます。そんな時に備え、なんと宇宙飛行士さん達は自分達で歯を抜く訓練を受けるそうです。また、宇宙飛行士の皆さんは、悪化しそうなむし歯はないか、外れそうな詰め物はないか、打ち上げの前に厳重にチェックを受けるそうですよ。

民間人の宇宙旅行も夢ではないこの時代、これからは宇宙がもっと近い場所になっていくことでしょう。いつか宇宙に行ってみたいと思っているお子さまには、特に日頃から特にお口の中をしっかりケアをして、むし歯を作らないようにしてあげたいものですね。

すやま歯科

電話 095-843-7234

診療科目 一般歯科/小児歯科/審美歯科/訪問歯科
インプラント/予防歯科/口腔外科

交通手段 路面電車「千歳町電停」下車徒歩3分
長崎バス「住吉バス停」下車徒歩2分



診察時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:00	9:00 ~12:30
午後	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	13:30 ~18:00	

マスクの下、お口がぽかんとしていませんか？

終わりの見えないコロナ禍、小学校や幼稚園・保育園でも子どもたちが常時マスクを着用しているのが当たり前になってきました。そんな中、日本の子どもの約3割に、日常的に口が開いてしまう「お口ぽかん（口唇（こうしん）閉鎖不全）」の症状があることが、新潟大学などの研究グループの調査で明らかになりました。マスクをしていると息苦しいので口が開いてしまうのです。親御さんには口元が見えないため気づきにくく、口唇閉鎖不全のお子さんが増えています。「お口ぽかん」が日常的になると、様々なトラブルを引き起こす可能性があるため、注意が必要です。

★「お口ぽかん」がもたらす悪影響

・ウイルスに感染しやすくなる

鼻呼吸は鼻がフィルターの役目をしてウイルスの侵入を防いでくれます。しかし、口呼吸ではウイルスが入りやすく、風邪をひきやすくなり、コロナなどの感染症にもかかりやすくなります。

・姿勢が悪くなる

口呼吸になるので、あごが下がって舌を前に突き出すようになり、猫背になってきます。

・虫歯や歯周病、口臭の原因になる

口呼吸によって口の中が乾燥し、唾液による自浄作用が働かなくなるので、口内細菌が繁殖したり、食べかすが残ってしまったりして、むし歯や歯周病のリスクが上がり、口臭の原因にもなります。

・歯並びが悪くなり、顔貌が変化する

幼少時から成長期にかけて常にお口が開いている状態が続いていると、お口周りの筋肉やあごの骨の発達不全が起き、顔の歪みが生じて、歯並びに影響が出る場合があります。怖いのは、「アデノイド顔貌」と呼ばれる、顎が後退し口唇が飛び出した、「お口ぽかん」特有の顔つきになってしまうことです。

★「お口ぽかん」を予防しよう

・口周りの筋肉は、「あいうべ体操」で改善できます。「あいうべ体操」とは、口呼吸を鼻呼吸に改善していく簡単な口の体操です。食後に10回、一日30回を目安に地道に続けると、舌力がついて自然と口を閉じることができるようになります。次の4つの動作を1セットとして、順にくり返します。声は出しても出さなくてもかまいません。毎食後に毎日続けましょう。

- (1)「あー」と口を大きく開く
- (2)「いー」と口を大きく横に広げる
- (3)「うー」と口を強く前に突き出す
- (4)「べー」と舌を突き出して下に伸ばす



※イラぼんWEBサイトより転載

★早めの治療が大切です

お子さまの「お口ぽかん」が見つかった場合は、早めに歯科医院で相談しましょう。早ければ、口腔筋機能療法(MFT)や予防矯正によって治療することができます。



すやま歯科

